



共 育

12月も中旬に入り冬型の天気が続いています。朝、児童玄関前に積もった雪をせっせと除雪してくれる元気な子供たちの姿も見られます。

今年も大詰めに入り学校では1, 2学期の学習がしっかり定着したかを確認するテストをどの学年でも行いました。学年によっては家庭学習の量も増え、お家の人の協力を仰ぐことも多くなるかと思えます。3学期は、通常の学習とともに、その学年で身につけておかなければならない学習内容をしっかり復習し定着させて次の学年に送る準備を進めます。冬休みはご家庭ごとに楽しいイベントもあるかと思えますが、宿題の取り組みも大切です。自力解決できる力がつくように、促しや励ましなどのご協力をよろしくお願いします。

「あんしんネット・冬休み緊急行動」のご協力をお願いします。

文部科学省や石川県教育委員会では、最近のスマートフォンなどの急速な普及によってオンラインゲームや通話アプリを使うケースが増えていることを考え、子供たちの生活習慣の乱れや不適切な使用、いじめ、犯罪被害などへの不安が高まっていることに注意を呼びかけています。

最近起こった事件でも、遠い出来事として片づけることのできない事態になっています。それは、子供たちの身近にある通信機器は、近隣の知り合いだけに限られたコミュニケーションツールではなく、広くは日本中、世界中とつながることが可能な道具だからです。

冬休みを間近に控え、今一度、便利ではあるけれど危険性の高いことを親子で話し合い、安易に買い与えたり使わせたりしないようにご協力をお願いします。

まずは
チェック

子供にスマートフォンを持たせる前に

スマートフォンを使うようになれば、インターネットを通じて年齢・性別・場所を問わず多くの人とつながる可能性が生じます。そこで、保護者自身が意識して行動したいことを以下にまとめました。あなたが苦手なことはありますか？

**スマートフォンを操作できる
(資料や情報などがあれば
簡単な設定も自分でできる)**

まずは自分で使って基本的な操作を把握しておきましょう。そして、子供が安全に使える環境を整えてあげましょう。

**情報モラルやフィルタリング
についての基礎知識がある**

情報モラルもフィルタリングも、子供をトラブルから守る大切な知識です。学校や地域で開催する研修会、Webの情報、書籍、事例集などで積極的に学びましょう。



スマートフォンの正しい利用
を態度で示すことができる

歩きスマホをしない、食事中や就寝前
は使わないなど、保護者自身が見本と
なって良いマナーを学ばせましょう。

スマートフォンの使用目的や
使い方について、子供と
話し合うことができる

なぜ必要なのか、どのようなことに使う
のか、子供の気持ちを聞きましょう。目的
を確認した上で、使い方を一緒に考え
ましょう。

スマートフォンの利用ルール
を子供と一緒に考えて
決めることができる

大人が勝手に決め付けて押し付けても
ダメ。子供の言い分にも耳を傾けながら
じっくりと話し合い、ルールを決めましょう。

家庭内で決めたルールを
定期的に話し合い、
適宜見直すことができる

利用範囲や時間、課金、各種制限など、
発達・成長段階に合わせてルールを調整
しましょう。子供と定期的に話し合うことは、
保護者が新しい情報を得る機会にもなり、
お互いの理解が高まるのでおすすめです。



羽咋市教育委員会では、午後9時以降のゲームや、メールなどの通信機
器の使用を控えるよう市内小中学生の保護者に向けてお願いをしています。
今一度、ご家庭でのルールを確認し、健康で安全に冬休みを過ごせるよ
うご理解とご協力をお願いします。

～ 保護者からのよくある質問 ～

健康や発達に影響がでてこないかが心配

発達途中にある子供がデジタル機器を使うことによる直接の影響
は、まだよくわかっていません。でも、寝る前の使用は興奮状態に
なることで、良質な睡眠を妨げるとも言われています。目や首への
負担もかかり、部品の誤飲なども起きている現状を考えれば、遊び
道具として適しているとは言えません。

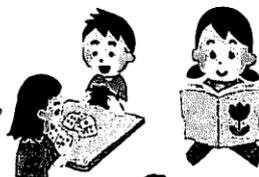
絵本、ぬり絵、ブロック・パズルほか、より安全性の高いもの
で遊ばせ、スマホ等はやむをえないときに使うものと考えましょう。

コミュニケーション力の欠如や依存が心配

スマホやゲームばかりしていると、コミュニケーション力が育たない
のではないかと、そのうち依存症になるのではないかと、という不安を
感じている保護者も少なくないようです。

言語活動能力は子供たちに必要な力として、学校でも指導が
行われています。一緒に遊ぶ・学ぶ、楽しく会話をするなど、
日々の生活での小さな積み重ねが将来役に立つと考え、工夫
してみましょう。家族のコミュニケーションが楽しければ、スマホや
ゲームに向かう時間が自然と減り、依存予防にもつながります。

資料「ちょっと待って！スマホ時代の君たちへ」（文部科学省）より



『あんしんフィルター』の目印はこのロゴ
マークです。
各携帯電話会社のフィルタリングサービスは
統一され、ちよつとした操作でフィルタリングの
オン・オフができるようになりました。うまく活用し
て子どもたちの安全を守りましょう。

